

# 第1回読書感想文 2023年5月-7月

## 今回のテーマ

今年第1回目の読書感想文のテーマは「世界読書トーナメント」です。  
 本は5000年前にはじめて作られてから、世界中でいろいろな人がいろいろな本を書いてきました。そこで今回は、色々な国の代表のを1冊ずつ選んでみました。どれも、その国で数十年から長いもので百年以上もの間、読まれてきたものです。  
 気になる国の本を選び、読んでみて、その国ならではの文章、世界を味わってみてください！

## 発表までの流れ

1. 本を買う      お手紙もらう ~ 6/2 (金)
2. 本を読む      5/29 (月) ~ 6/30 (金)
3. 完成シート    本を読み終わる ~ 7/7 (金)
4. ★発表会★    7/12 (水)
5. 作文提出      7/21 (金) 〆切

## 発表会の日程

# 7月12日(水)15:10-16:10



# 課題図書一覧

小学3・4年生

01

## 日本代表 🇯🇵 『注文の多い料理店』



ある日、二人の男は、山で狩りをしている時、道に迷ってしまいます。お腹も空いたところで目の前には「西洋料理の店」。入ってみると「この店はタダで料理を食べられますが、注文が多いです」という注意書きがあります。「靴の泥を落としてください」、「鉄砲をここに置いてください」「帽子と上着と靴を脱いでください」といった注文に続くのは、なんと「壺の中のクリームを顔や手足に塗ってください」という注文。さて、いったいぜんたい、この店はどういう店なのでしょう？

02

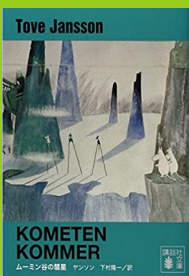
## アメリカ代表 🇺🇸 『大きな森の小さな家』



アメリカといえば世界で一番大きくて強くで発展した国。そんな印象はないかな？でも今から150年前、1870年代にはアメリカは広い大草原と深い森が広がる国でした。この本は、そんな草原と森の世界で、新たに生活を始めたある家族の1年の物語。大自然の中で生きるために、家族は色々と工夫をこらします。冬の寒さを越えるために、秋のうちにハムやベーコンなどの保存食を準備したり、手作りバターを作ったり。自然の中で家族が力を合わせて困難を乗り越えていく、心温まるお話です！

03

## フィンランド代表 🇫🇮 『ムーミン谷の彗星』



日本人の98%が知っているといわれるムーミン（本名、ムーミントロール）。シリーズ全体のほんわかしたイメージと違い、この本の物語は「世界の終わりが近づいている」ところから始まります。長く降っていた大雨が止んだ後、世界は灰色一色になってしまいます。そればかりか、空を望遠鏡でよく観察すると、流れ星が接近してきていて、星にぶつかってしまいそうです。世界の終わりが近づく中、ムーミンたちは最後の時間をどう過ごすのか。そして本当に世界は終わってしまうのか？意外に読んだことのないムーミンシリーズ、どうでしょう？

04

## ロシア代表 🇷🇺 『イワンのばか』



「ばか」というと悪いイメージですよね。「ばか」よりも「頭がいい」方がいいし、「お金がない」よりも「お金がある」ほうが良い。でも本当かな？頭が良くしてお金持ちの方が本当に幸せなんだろうか？そう考えたことはありませんか。ロシアのある家族、3人兄弟の末っ子のイワンのあだ名は「ばかのイワン」。そんなイワンが持ち前の「ばか」な性格で、悪魔を倒し、王様になり、人々を幸せにする話。ぜひ読んでみてください。

# 課題図書一覧

小学5・6年生

01

## イギリス代表 『不思議の国のアリス』



「退屈だ。何か面白いことはないかな」と思って歩いていると、手に時計を持ち人間の言葉で「急がなきゃ!」と喋っているウサギをみかけたら、君ならどうするかな? 主人公のアリスはウサギを追って、ふかいふかい穴に入ってしまう。穴の先は見たこともない世界。飲み食いすると体のサイズが変わってしまうキノコや水があったり、ハリネズミをボールにしてフラミンゴをバットにしたスポーツが行われていたり、などだらけ。トラブルに巻き込まれて死刑にされてしまいそうなアリスがどうこの世界から抜け出すのか・・・? 読んでそのなどを解いてみましょう!

02

## 韓国代表 『庭をでためんどり』



「学校いやだな～行きたくないな～」と思ったこと、何度もあるでしょう。柵に囲まれた建物、きゅうくつな教室、学校のルール、勉強。自由になりたい! と強く思いますよね。この本の主人公は、あるニワトリで、君たちと同じように「庭から出て自由になりたい!」とおもっています。そんなニワトリがある日偶然庭から出られることになり、別の世界に飛び出していきます。「自由になれた! 幸せだ!」と思ったのもつかのま・・・。大変な外の世界に出会い、「自由とはなにか」を全く違う見方で考えはじめます。みんなはどういう生き方が自由だと感じるかな?

03

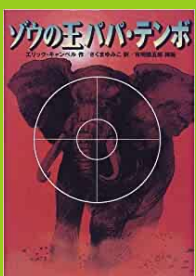
## ドイツ代表 『飛ぶ教室』



これはドイツの寄宿学校(生徒たちが一緒に家で暮らしながら勉強する学校)の、とあるクリスマス前の5日間のお話。寄宿学校の生徒の1人が、隣町の学校の不良に誘拐されるところから物語が始まる。友達を取り返すために、不良たちに対決を申し込む寄宿学校のマルティンやジョニー。学校の規則をやぶって外出し、監禁されている友達を救い出すことができるのか? 5日間だけの話なのに、何年間もの長いストーリーが感じられる、不思議な本です!

04

## タンザニア代表 『ゾウの王パパ・テンボ』



ゾウの脳は人間よりずっと大きいです。そしてそのゾウは、現実にアフリカで、1年に1万頭以上ハンターによって殺されています。この本では、「パパ・テンボ」と呼ばれる一頭の巨大なゾウがターゲットになります。ゾウをにくしみ、ゾウを殺し続けるハンターの名は、ヴァン・デル・ヴェル。一方アリソンという女の子は、なぜかパパ・テンボと心が通じています。大好きなパパ・テンボを救うために、アリソンがヴァン・デル・ヴェルに立ち向かった結果はどうなるか・・・?

# セルフチェックシート

内容	め切日	できたら チェックをなぞろう！
1. 本を買う	6/2 (金)	✓
2. 本を読む	6/30 (金)	✓
3. 完成シート を書く	7/7 (金)	✓
4. 発表会に 参加する	7/12 (水)	✓
5. 作文を書 いて提出	7/21 (金)	✓



名前